

鹿児島で世界を語ろう！

第27回 外国人による 日本語スピーチコンテスト



公益財団法人鹿児島県国際交流協会

鹿児島県在住の外国の方に、日本語で意見を発表する機会を提供することで、外国の方の日本語能力の向上を図るとともに、鹿児島の国際化を考える上で、国籍や文化の違いを越えた相互理解・国際交流を深め、多文化共生の社会づくりを目的として、「鹿児島で世界を語ろう! 第27回 外国人による日本語スピーチコンテスト」を実施しました。

今回は、10ヵ国 22名の県内在住の外国の方から応募があり、その中から、6ヶ国 9名の皆様が本選でスピーチを行いました。発表スピーチの内容を御紹介いたします。

令和4年1月29日(土)
かごしま県民交流センター1階 県民ホール
(御来場者数: 80名)

開会

主催者あいさつ 公益財団法人鹿児島県国際交流協会 理事長 津曲 貞利

スピーチ発表

審査結果集計

審査結果発表

表彰 最優秀賞・優秀賞・奨励賞・審査員特別賞

講評 鹿児島国際大学 国際文化学部 教授 祖慶 壽子

閉会

審査員(敬称略・順不同)

新内 康子 (鹿児島大学 非常勤講師)

祖慶 壽子 (鹿児島国際大学国際文化学部 教授)

高島 まり子 (鹿児島ユネスコ協会 常任理事)

中尾 成昭 (鹿児島国際化推進協議会 会長)

古川 雄司 (南日本新聞社読者局読者センター センター長)

岩切 剛志 (かごしま県民交流センター 館長)

寺園 直喜 (公益財団法人鹿児島県国際交流協会 専務理事)

※今回も前回に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のため、来場者(発表者の関係者を含む)の人数を制限して、事前申込制としました。

また、入場に際しては、マスク着用、手指消毒、検温のご協力をいただきました。

【最優秀賞】



氏名 BURGESS KEEGAN
(バージェス キーガン)

国・地域 アメリカ

在日期間 3年5ヶ月

所属 ALT (甲東中学校)

タイトル： 分断の世界に生きる

私たちは分断されている世界に住んでいます。現在のアメリカにおいてもそうです。アメリカのニュースで BLACK LIVES MATTER のデモをよく見ます。BLACK LIVES MATTER というのは黒人に対する差別に抗議する運動です。一方で、警察も BLUE LIVES MATTER という活動を始めました。警察官の制服が青色ですから、BLUE LIVES MATTER と言います。警察官を応援し、警察に対する BLACK LIVES MATTER の考えに抗議しています。

さて、私のおさななじみは、黒人です。名前はデレクです。小学校一年の初日、昼休みに本を読んでいた時、デレクが「何をしているの」と聞いてきて一緒に本を読みました。その時から私たちは親友になりました。いつも一緒にアニメを見たり、ゲームをしたりして、こども時代を楽しみました。学校の先生たちは、私たち二人を「双子」と呼んでいました。私は学校の最もシャイな子供で、デレクは反対だったので、デレクは私のためによくしゃべりました。私たちは違う中学校に入りましたが、友達のままでした。今もまだ親友です。

一方、私の父は警察官です。身長2メートルで銃を撃つのが得意です。にもかかわらず、父は厳しくありません。子供の頃、よくキャンプをしたりハイキングをしたりして、多くの「父と息子の時間」を持ちました。父は私と妹に対してほとんど怒りませんでした。子供の頃、デレクが夏休みに毎日私の家に来て、家族みんなと一緒に遊びました。いつも楽しかったです。

歴史的に、アメリカには人種差別の問題があります。黒人の奴隷制があり、その後の人種隔離の時代があり、人種の問題はアメリカにとって最も解決しにくい問題です。今でも多くの貧しい地域は、ほぼ黒人が住んでいるところです。双方は違う方法で、解決する考えがあります。黒人は自分の人生を守りたくて、警察は自分の権利を守りたいです。間違いなく、人種差別は大変な問題です。その一方で、アメリカの犯罪率はとても高く、毎日上がっています。その点で警察は警察で大切なのです。

私は日本で差別を経験したことがあります。電車に乗っているとき、お客さんはよく私をじっと見つめます。時々「私はエイリアンじゃないんだよ！人間だよ！」と言いたいんですが、何も言いません。けれども、私は帰国することができます。アメリカの黒人はそのようなことができるわけではありません。

結論として、この問題を解決するのは、今は、ほとんど無理です。現在のアメリカは分断されているので広い範囲では何もできません。ですが、個人のレベルではお互いに優しく付き合えます。デレクと私の父は今多くの意見が違いますが、お互いを尊重して話し合えます。解決のためには、このような関係が必要です。双方が優しく話さなければ解決できません。ですが、それはまだ未来にあります。

ご清聴ありがとうございました。



【優 秀 賞】



氏 名 NGUYEN THU CHANG
(グエン トウ チャン)
国・地域 ベトナム
在日期間 2年7ヶ月
所 属 鹿児島協同食品株式会社

タイトル:3年の授業

2018年8月23日、その日は曇りでした。ある大学の法学部の合格通知が届き、私は大喜びで父に見せました。しかし、私の嬉しさに満ちた顔は一瞬で暗い表情へ変わりました。私は5人姉妹で、両親の安い給料では大学進学は無理だったのです。両親の「進学させたくないのではなく、させたくてもできない」というつらい気持ちも理解していましたが、つい涙があふれてきました。と同時に、「負けない。絶対別の道で頑張る」という強い気持ちが湧いてきたのを覚えています。

2019年7月1日に鹿児島県の食品製造会社で実習生として参りました。専門学校でもなく、大学でもない、先生はいなくて、クラスメートはおばちゃんだけと3年間の授業が始まりました。日本へ来たばかりのころ目に映るもの、聞くこと全部が新鮮で、戸惑うこともありました。夏の暑い日に初めて自動販売機の前に立って、「どうしようかな…」と迷った後、お金を入れて出てきたのが熱いお茶だったときは、ショックでしたし、仕事の説明をされて、聞き取れたのは「頑張ってください」「ゼロ災で行こう」「ヨシ」の3つだけでした。それがきっかけで日本語の勉強を始めました。外国語が苦手だった私は1年半でNI(エヌワン)に合格することができました。私はそのことを自慢したいわけではありません。ここで言いたいことは、合否や成績は関係なくて、合格するまでの過程で得るものがあったということです。どんなに才能があった人でも目的がなければ、何もできません。でも、その自分が決めたゴールにたどり着くまでには悩んだり、怖くなったりして、諦めたくなることもあります。しかし、困難があるからこそ、自分でできることを探して、強くなります。何よりも毎日の積み重ねは大切です。目指したものに集中して、なんとか高い壁を乗り越えることが出来ます。言葉はコミュニケーションの道具の一つとありますが、最初は使い方が下手でも毎日使えば、だんだん交流できるようになり、お互いに理解し合えると思います。そうやって、私も仕事がちゃんと出来るようになったり、クラスメートのおばちゃんたちとの距離がなくなって、気が付けば町の一員になっていました。

2年半は長くはないけれど、生まれ育った故郷から遠く離れて知り合いもほとんどい

ない国で一人暮らしをするのは大変でした。でも、大きく成長することもできました。初めて給料をもらった時はうれしい気持ちと、今まで気付かなかった父の苦勞を知りましたし、一日仕事をして疲れて部屋に帰ったときは、母のおいしい手料理を妹たちと食卓を囲んで、食べていたことを思い出しました。私はとっても幸せだったのです。

日本での毎日は楽しみ、喜び、寂しい、がっかり色んなことがありました。でも日本に来てよかったです。じゃないと、皆がやってくれたことは当たり前だと思って、言うこと聞かない女の子のまま大人になってしまっていました。本日、ここで立って話せることは私にとって思いがけないチャンスです。

ここである言葉を引用させていただきます。“大切なのは何が与えられているかではなく、与えられたのをどう使うか”です。お金持ちじゃなくても、嫌なことがあったり思い通りにいかなくても、自分がどう進むかで、その後の人生は自分で選べます。私はあの時お金がなくて大学に行けませんでした。今は新しい道を希望にあふれた未来に向かって歩いています。

ここ2年はコロナのせいで暗い世界になってしまったけれど自分を見直すいい機会と考え、皆さんも明るい未来のために考え方を考えてはみませんか？

ご清聴ありがとうございました。



【優 秀 賞】



氏 名 TETI BAROKAH
VERLIANA
(テティ バロカー フェルリアナ)

国・地域 インドネシア

在日期間 1年1ヶ月

所 属 社会福祉法人 慶生会

タイトル：カルチャーショック

こんにちは。私はインドネシアの西のジャワから来ました、テティ バロカー フェルリアナです。よろしくお願ひします。

日本の皆さんは海外に行った時、カルチャーショックを受けたことがありますか。外国人の皆さんは日本に来てからカルチャーショックを受けましたか。皆さんの中には色々な事を知っていて、カルチャーショックを受けなかった人もいるかもしれませんが、私は日本でカルチャーショックを受けた一人です。

私は2020年の12月に日本に来ました。日本に来て、初めて驚いたことは駅にいた時でした。あの時、私は11人のインドネシア人と案内役の日本人と駅まで行ったのですが、駅にはたくさんの方がいて、それを見た時困ってしまいました。私は忙しくて、にぎやかな場所にいることが苦手でいつもは迷わないように集中をします。でも、日本に来たその時は違うことを感じました。私は駅にいる人々が忙しく歩いているもみんながちゃんと並んで電車を待っているから慌ただしくてもみんなぶつかり合わないということです。エスカレーターであっても、みんなが急いでいる人のため、道を譲るように片側に並んでいます。だから、私は駅で心配することがなく、無事に目的地に到着することができました。とてもよかったです。それだけじゃありません。あの時は日本の新幹線に乗ることも初めてでしたが、日本人は新幹線に乗る時、降りる人を優先して、待っていて、私も同じようにしました。どんなに急いでも日本人はちゃんとルールを守っています。素晴らしいと思いました。私にとって教訓になりました。

次はトイレです。インドネシアから日本に来た時はコロナウイルスの影響で、ホテルに泊まらなければならませんでした。泊まったホテルのトイレを見た瞬間、いつも水でお尻を洗っているインドネシア人の私はとても驚きました。ホテルのトイレにはトイレトペーパーしかなかったのです。いつもトイレをした後に、水を使うことが当たり前だった私はとても困ってしまいました。恥ずかしいですが、排便できない日が続いて、インドネシア人の友達も心配してくれました。友達も同じように日頃使うトイレにはトイレトペーパーしか使えない状況で日本で生活しており、友達はいつも排便してからシャワーをしているそうです。聞いてから真似をしようと思いました。ただ、日本で3年間暮らす時ずっとトイレトペーパーしか使えないならどうしよう大変だと考えました。しかし、

今住んでいる寮や仕事の場所に来てからは、そんな心配はありませんでした。今の寮や仕事の場所で使っているトイレと前ホテルで使ったトイレは違うことがあります。水が出る（ウォシュレット）というボタンがあります。そして私のように恥ずかしい人のため音の出るボタンもありました。そのボタンを押したら、うがい水のような音が出ます。私はトイレをする時、周りに聞こえないようにあのボタンをいつも使ってます。また、冬の際は便座が冷たくならないように温かくなります。素晴らしい物だと思いました。インドネシアの家にあつたら、家族が必ず喜びます。

今お話したのは私がカルチャーショックを受けた事の一部です。新しい場所で生活する時に心配するのは当たり前ですが心配しすぎたらだめだと思いました。私も初めは色々なことに慣れるのに時間がかかりました。そして、今来日一年ちょっとたちますが、今では日本の生活を快適に感じています。残り2年間で日本に来る前から決めていた目的を達成して、新しいことにチャレンジしたいです。今からも頑張っていきます。

皆さんご清聴ありがとうございました。



【優 秀 賞】



氏 名 PHAM MINH CHAU
(ファム ミン チャウ)
国・地域 ベトナム
在日期間 5年3ヶ月
所 属 鹿児島大学

タイトル：なぜ日本に留学したのですか？

皆さん、こんにちは。

ベトナムから参りましたファム ミン チャウと申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

では、私のスピーチを始めさせていただきたいと思います。

「なぜ日本に留学したのですか？」

日本へ来て何度もこのように聞かれました。

アニメ、寿司など日本には魅力的な物が沢山あります。しかし、私の場合は日本のバリアフリーデザインに惹かれて来日したといっても過言ではありません。

バリアフリーデザインとは高齢者や障害者などの介助を必要とする方にとって生活の障壁となるものを取り除いたデザインです。

代表的なものとして駅や道路で延々と連なる黄色い点字ブロックがあります。

最初に点字ブロックを知ったのは、私が中学生のときです。

日本人にとっては見慣れた光景だと思いますが、外国人の私は「あの凸凹のブロックは一体何だろう。日本の道路は質が悪いな」と思ってしまいました。気になり、調べてみると道路の質が悪いわけではなく、視覚障害者のための日本発祥のアイデアだと知り、驚きました。そして、日本があらゆる方面でバリアフリー化が進んでいる国だということが見方が変わりました。

これがきっかけで私は日本に興味を持ち、日本に行ってみたいと思うようになりました。

日本に留学してから日本人の工夫が凝縮されたバリアフリーデザインを身近に感じます。

たとえば、日本では視覚障害者のため点字が普及しています。

スーパーでは商品のパッケージに、鹿児島の維新ふるさとの道のような有名な観光地では案内板に、非常に充実した物理的なバリアフリーが導入されています。

それだけでなく、公共交通機関では、高齢者、妊婦さん、足が悪い人のため、席を譲ったり、運転手がスロープを用意したりするなどの心理的なバリアフリーも日本では当たり前のこととなっています。

そういった些細なところから日本人のやさしい心を強く感じました。バリアフリーデザインや行動を見かけるたびに心が晴れていきます。

そして、これらは私が将来やりたいことにも繋がっているように思います。

私は食品企業の商品開発部に就職しました。これから、日常生活に欠かせない食品にバリアフリーデザインを取り入れていき、少なくとも困っている人の手助けになり、やさしい社会作りに貢献したいと思っています。

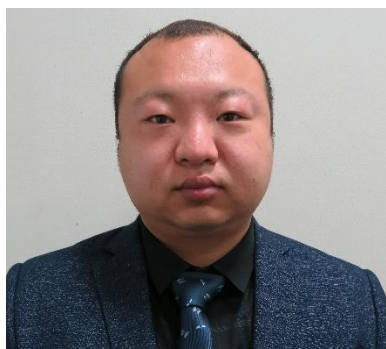
私はバリアフリーデザインに惹かれ、日本に留学し、自分の人生の目的を見つけました。留学して本当に良かったと思います。

皆さんも是非新しい物事に興味を持って、機会があれば、行ったことがない国に行ってみてください。小さなきっかけでも馴染みの環境から一歩踏み出したら人生が変わるかもしれません。

私の発表は以上となります。ご清聴ありがとうございました。



【奨励賞】【審査員特別賞】



氏名 矯傑
(キョウケツ)

国・地域 中国

在日期間 1年1ヶ月

所属 神村学園専修学校

タイトル：急がば回れ

「10回」、これは何の回数だと思いますか。女性と付き合った数、ダイエットに失敗した数……いいえ、違います。運転免許試験を受けた数です。私は鹿児島で貿易の仕事をしている叔父を手伝うために運転免許を取ろうと思い、去年、運転免許試験を受けました。私は中国で運転の経験があるので1回で合格できるとしていました。しかし2回、3回、4回、全然合格できません。

4回目の試験が終わってから、試験官の先生に質問しました。すると、3つのアドバイスをもらいました。1つ目は車線の幅です。左に曲がる時にバイクや自転車があるのを防止するために左側30センチ以内に幅寄せしなければなりません。2つ目は交差点を曲がるスピードです。私は安全のためにとてもゆっくり曲がりました。しかしゆっくり過ぎたので、「もう少し速く」と言われました。そして3つ目は確認です。中国では曲がる時、右・左の確認だけですが、日本では後ろから来るバイクや自転車に気をつけて、バックミラー、サイドミラー、目視をしてから曲がらなければなりません。初めは確認することが増えてとても大変でした。

5回目の試験では、アドバイスされたことに気をつけて運転しました。これでやっと合格した……と思いましたが不合格でした。試験の前に2時間ぐらい練習したのに「まだ足りないかなあ、早く合格したい!」と思いました。その後も6回、7回、8回、9回、何度も試験の前に練習しましたが不合格でした。そして10回目……。試験場に向かう電車の中で、今まで失敗したことを思い出して、どうすれば合格できるか考えました。その日は、試験の前の練習ではいつもより落ち着いて運転することが出来ました。練習後、私が「どうでしたか?」と聞くと先生は、「よかったよ。この調子で頑張っ!」と励ましてくれました。その後すぐ試験が始まりました。試験の結果は……合格。やっと合格することが出来ました。

私は 9 回の失敗から大切なことを学びました。以前の私は、「早く試験に合格したい」、「早く日本で運転したい」という気持ちだけで全然、準備や練習が出来ていませんでした。そして、気持ちだけ走っていました。しかしこれからは勉強や仕事など何かをするときには、ちゃんと準備してしっかり確認しようと思います。人生は何でも「急がば回れ」ですから。



【奨 励 賞】



氏 名 BELTRAN NEIL
SARMIENTO
(ベルトラン ニル サルミエント)
国・地域 フィリピン
在日期間 1年10ヶ月
所 属 神村学園専修学校

タイトル： 弓の道

1年前、やっと！憧れの日本に来ることができました。アニメ、漫画、ゲーム、声優、一緒に同じ趣味の人と過ごせると楽しみにしていました。来日してみたら、静かな町、鳥の声、海の音……。何ですかここ。アニメの聖地・秋葉原のつもりが、ツルの聖地・出水に降り立ってしまいました。でも興味があつたあのことにここで出会えました。

それは弓道です。これは完全にアニメの影響です。例えば『犬夜叉』や『かんコレ』の女の子達は弓道をし、袴で狙いを定める姿はとても美しいです。アニメでは袴の色は白、黒、赤、青など色々あって、短いスカートのようなタイプもあります。様々なデザインであふれていて、本物とはちょっと違います。

私が初めて本物の弓道を見たのは、今の学校です。木の床、矢の箱、弓の棚……。 「これこそ弓道だ」と感じ、その瞬間アニメを思い出しました。「これもあるんだ。これも。あ、これちょっと違うんだ」 見ているだけでも楽しかったのですが、なんと、弓道部の先生がフォームを教えてくださいました。私は興奮しました。

次の日、見学に誘われて、伊集院に行きました。行って見て、ショックを受けました。神社の中に弓道場があるなんて……。と、私がぼーっとしているうちに練習の準備が始まりました。その日みんなは袴をはきました。かっこいい！ 的に目をやると、木に囲まれた美しい景色が広がり、木々から光がこぼれています。みんなの練習が始まりました。その日は言葉が出てこなかった。ただただ美しく、見とれていました。

その徳重神社で、私も何度か弓道を習うことができました。さらに学校でも、「弓道部に入れるよ」と言われました。私はわくわくが止まりません。忙しくなるとわかっていましたが、弓道をやりたかったので、かまいませんでした。

実際に思ったとおりで大変で、出水からいちき串木野市まで通っている私は、帰る時間がもっと遅くなりました。でも先輩方の動作が見られたり、的に当たった音を聞けたりして、最高です！練習中の写真を撮って、フィリピンの友達に自慢しました。みんなは「お前、本物のオタクだな。短いスカートもはくの」とか、「おお、俺のハートを射抜いてくれ！」などと冗談を返してきます。

実は、留学するなら東京の方がいいんじゃないかと思っていました。アニメが好きなのは、いつ

でも秋葉原に行けると思いました。しかし鹿児島に留学したからこそ、弓道をするチャンスにめぐり合えました。弓道のおかげで、礼儀作法や、心を整えることが身につきました。今は一つの目標に向かって頑張っています。的に当てることです。次は袴をはいて的の前に立ちたい、自分の弓と矢を持ちたい、そして級をとって試合に出たい。弓道がある生活をもう離したくないです。弓の道は深い。一生をかけて付き合っていきたいです。鹿児島に来てよかった。これからも精進しようと思っています。



【奨励賞】



氏名 NGUYEN HA AN
(グエン ハ アン)
国・地域 ベトナム
在日期間 3ヶ月
所属 神村学園高等部

タイトル：コロナ時代の私たちのあり方

新型コロナウイルスが発生して以来、私たちの日常生活は大きく影響を受けています。この二年間、私たちは新型コロナウイルスに苦しめられてきました。コロナの感染者数を増やさないために、様々なことが制限されました。皆さんの生活に関わることもたくさんあるでしょう。新型コロナウイルスの感染拡大により、どのようなことが起こったのでしょうか。

まずは問題点についてです。一つ目は、教育の問題です。多くの学生は学校に通えなくて、オンライン授業となりましたが、自分で勉強するのは難しいと思います。なぜなら、オンライン授業では、学生たちは集中することもできないし、わからないところを先生に直接質問することもできないので、成績は下がって行くからです。

二つ目は会社の経営についてです。観光やリゾートなどの一部の産業は運営できないので、破産してしまうこともあります。他の業界でも、出社することもできないし、同僚と直接会話することもできないので、労働者の効率が下がって、会社全体の業績も下がるでしょう。

三つ目は、人間関係の問題です。コロナウイルスのせいで、外出もできないし、イベントにも参加できないので、さびしい思いをしている人もいます。また、人と話すときは、マスクをつけているため相手の顔の表情を見ることができないので、相手の考えや気持ちなどが分かりにくいかもしれません。これらのことから、人間関係が稀薄になっていくと思います。

しかし、困難をチャンスに変える事もできます。一つ目は、オンラインで勉強する時、自分の学校で勉強するだけじゃなくて、世界の学校の MOOC を通じて、いろいろな有益なことも学ぶことができます。私はずっと他の国の文化を知りたかったのですが、調べる時間があまりありませんでした。しかし、コロナウイルスが発生して以来、ずっと家で勉強して、勉強の時間も自分で管理したので、ひまな時、“Coursera”というサイトを通じて、たくさんの国の文化を学ぶことができました。そのため、私にとって、前には学べなかったことが今学べる最適な時期だと思います。

二つ目は、中小企業はこの時期をきっかけに急速に成長し、大企業に追いつくことができると思います。なぜなら、中小企業は若い働き手が多いので、現在のような困難な時期でもすぐに対応できるからです。例えば、ベトナムの“Tiki”という小さいEコマース会社はコロナ時代、商品の売り上げが急激に上りました。なぜなら、コロナ時代、人々が外出できないことを一早く見込み、

オンラインショッピングに力を入れたからです。従って、“Tiki”みたいな会社はこの時期をきっかけにして、発展することができると思います。

最後は人間関係のことで。相手の表情が見ることができないので、相手の考えや気持ちなどを理解するために、逆に感覚が鋭敏になるのではないのでしょうか。また、直接会えないときは、オンラインでクラスメートだけじゃなくて、世界中の人と繋がり、友達もできると思います。それに、長い時間家にいると、本を読んだり、自分が好きなことをしたり、家族と一緒に過ごしたりすることができます。父はいつも出張していて、あまり話せなかったのですが、コロナ禍になって、ずっと家で働いているので、話すチャンスが多くなりました。毎日、勉強や趣味や好きな映画などたくさん話すことができたのはとても嬉しかったです。

コロナ時代はひどい苦境かもしれませんが、苦境があるからこそ成長することができるのではないのでしょうか。私たちはまだ学生なので、できることが限られていますが、今から少しずつ頑張っていきたいです。例えば、一生懸命勉強することや、家族と友達にもっと関心を持って接することなどです。将来はどうなるか、まだ分かりませんが、今の困難を乗り越えるために、みんなで一緒に協力して、頑張りましょう。



MOOC : Massive Open Online Courses (大規模公開オンライン講座)

【奨励賞】



氏名 PHAM VAN HOC
(ファム ヴァン ホック)

国・地域 ベトナム

在日期間 1年

所属 鹿児島情報ビジネス公務員
専門学校

タイトル：努力の動機

1年前、私は必死に貯めたお金と、それにインスタントラーメンと少しの服が入ったかばんを持って、成田空港に到着しました。

子どもの頃、私は漫画やアニメを通じて、日本について知りました。例えば、アニメ「ポケモン」に出てくる主人公サトシとピカチュウは周りの人に親切です。目の前のことに一生懸命取り組みます。それから「ドラえもん」に出てくるのび太。あまり頭はよくないけど、優しい性格で、ドラえもんに助けをもらいながら、できないことにも挑戦します。「日本人は優しく、あきらめない」知れば知るほど、日本のことをもっと知りたくなりました。「大人になったら日本に留学しよう」子どもの時から、そう思っていました。そして今、私は日本にいます。日本に来て、私は日本人の先生から日本語を教わりました。そして、アルバイト先のコンビニで日本人の同僚と働きました。この体験から、日本人の性格や考え方を学び、尊敬しました。

私が日本についたその日は、天気が悪く、とても寒かったです。その頃は、今よりもコロナウイルスが流行していました。二週間の隔離期間が終わったら、隔離のためにかかった費用を全部払わなければなりません。私は持ってきたお金から支払いました。南国ベトナムのホーチミンから来た私にとっては、日本の寒さはとても厳しく、さらには手元のお金も少しずつ少なくなっていき、余計に寒く感じられました。

その頃の私はまだ、今よりも日本語が苦手でしたが、生活費のためにアルバイトをしなければなりません。そして、思った通り、勉強がうまくいきませんでした。私は自分が周りの人より下手だと思いました。とても退屈な日々でした。毎日、ラーメンだけ食べました。皆さんはその生活についてどう思うでしょうか。

私の気分はかなり落ち込みました。“どうすればいいのか？どれほど頑張ればいいのか？”と考えました。未来の見通しが暗くなると思うと、とても怖くなりました。

私はそれを考え続けました。日常生活とアルバイトの両立もうまくいかず、悩み苦しみました。勉強にも仕事にも全然集中できませんでした。

ある日、私がアルバイト先のコンビニで「お姉さん」と呼んでいる日本人の同僚にその時の気持ちを話しました。そのお姉さんは、こう言いました。「ねえねえ、ホックさん聞いてね。頑張ってよ。

ホックさんはできる。どんなに大変でも、あきらめないでね」と私を励ましてくれました。「日本では地震とか津波とか・・・歴史的にも戦争を経験して。それでも、日本人は諦めないで一生懸命働いてきたのよ」お姉さんは私に言いました。

その話を聞いた後、私の気持ちに変化がありました。「私はベトナム人です。ベトナム人もよく頑張っています。どうして気分が落ち込むんですか。日本人と同じようにベトナム人にもできる！絶対に諦めないで、この困難を乗り越えよう!」と考えました。

それからは、まじめに勉強できるようになりました。積極的な考え方になりました。私は夢中になって日本語を勉強しました。日本語をレベルアップさせるために、毎日先生や友達や周りの人とコミュニケーションを取りました。

そして、いつもアルバイト先では、同僚から仕事の知識と経験を学びました。見習うことは自分をレベルアップさせられるし、それがお店の利益にもつながると考えたからです。

お姉さんの言葉で私の気持ちは大きく変わり、勉強もアルバイトもうまくいかない状態から、私は立ち上がることができました。そのおかげで、少しずつ考え方や行動が変わりました。

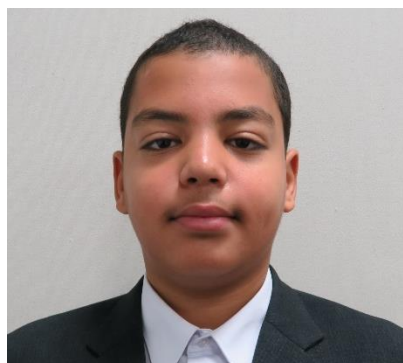
私はもうすぐ日本語学校を卒業しますが、どんな心配なことがあっても、「困難な時でも絶対に諦めないで、自分の夢を叶え続けてください」と、いつも自分に言っています。

“人間の一生には苦しいことも、悲しいことも、楽しいこともあります。でも、一生懸命生きましよう”という日本人の教訓を聞いたことがあります。日本は私が生まれた国ではありません。しかし、日本は私が生きる上で大切な知識やスキルを身につけて、成長させてくれた場所です。

日本において「努力」は、夢を叶えるのに大切な要素です。私の夢は日本で IT の専門家になることです。今頑張ることは、未来の成功につながります。皆さんの「努力の動機」は何ですか。



【奨 励 賞】



氏 名 SAADELDIN YOUSUF
(サドルディン ユスフ)

国・地域 エジプト

在日期間 2年5ヶ月

所 属 鴨池中学校

タイトル： ぼくの幸せのヒミツ

オスラ。ファミリー。家族。

ぼくにとって家族は大切な存在です。ぼくたちは一人では生きていけません。いつも誰かのサポートが必要です。ぼくに、一番大きなサポートをしてくれるのが、家族のみんなです。

ぼくは、2年前にエジプトからきました。エジプトにいるときは、おじいさんやおばあさん、おじさんやおばさん、いとこたちと、4階建てのアパートに、みんなで一緒に住んでいました。いつでも会うことができ、一緒にご飯を食べたり、遊んだり、笑ったりして、すばらしい時間をすごしました。

今ぼくは、父と母、弟たちと、家族 5 人で日本に住んでいます。日本にきてからは、ぼくたちだけになって、とてもさみしかったです。おじいさんやおばあさんと一緒に住んでいたあのときを、いつ思い出してもすごくなつかしく感じます。もう一度、あのころに戻ってほしいなあ。

ぼくたちの家族は、日本の生活になれるまで大変でした。日本語が分からないので、買い物や病院など、難しいことがたくさんありました。ぼくは、エジプトにいるときより、家族のためにがんばることが増えました。ぼくは、日本語教室にかよって、たくさん日本語を勉強しました。父や母に、学校で覚えた日本語を教えました。買い物や病院にも一緒について行き、漢字を読んで、アラビア語で伝えています。家族のために役に立てて、うれしいです。

両親も、ぼくのために、一生懸命がんばってくれます。父は、家族の中で誰にもできない、難しいことをがんばってくれたり、日本語教室への送り迎えをしたりしてくれます。休みの日には、ぼくたちを遊びに連れて行って、一緒に遊んでくれます。

母は、毎朝ぼくのためにお弁当を作ってくれて、洗濯やそうじなど、家のことも一生懸命してくれます。ぼくたち子どもの気持ちをよくわかってくれます。ぼくは、いつも両親に感謝しています。

弟たちは、ぼくと一番たくさん遊んでくれます。けんかをすることもあるけれど、すぐ仲直りをして、何もなかったかのように寝ます。弟たちがいてくれて、いつも楽しいです。

ぼくの両親は、大切なことをたくさん教えてくれます。そのひとつが、おじいさんやおばあさんを大切にすることです。両親はエジプトにいる祖父母に毎日必ず電話をしています。祖父母をととても大切にしています。父は、ぼくに、「お父さんは、おじいさんとおばあさんに大切に育ててもらったんだよ。子どものときは、育ててもらおうことしかできなかったけれど、大人になったら、おじいさん

とおばあさんを守ることができるんだよ。だから、大切に見守っているんだよ。」と教えてくれました。その言葉を聞いて、ぼくも、大きくなったら、両親を大切に見守っていきたいとおもいました。

ぼくは、これからも家族を大切にしていきます。だって、ぼくが幸せなのは、家族のおかげだから！



主催

公益財団法人 鹿児島県国際交流協会

後援

鹿児島県日中友好協会	鹿児島県マレーシア友好協会
鹿児島市日中友好協会	鹿児島スペイン協会
鹿児島日英協会	鹿児島日豪協会
鹿児島日独協会	鹿児島日仏協会
鹿児島日華親善協会	鹿児島日韓親善協会
(一社)鹿児島県日越友好協会	鹿児島国際化推進協議会
鹿児島県	鹿児島県教育委員会
鹿児島市	鹿児島市教育委員会
鹿児島商工会議所	(公社)鹿児島青年会議所
国立大学法人鹿児島大学	国立大学法人鹿屋体育大学
鹿児島国際大学	志學館大学
第一工科大学	鹿児島純心女子大学
鹿児島県立短期大学	鹿児島工業高等専門学校
学校法人赤塚学園	
学校法人九州総合学院鹿児島情報ビジネス公務員専門学校	
学校法人神村学園高等部 神村学園専修学校	
学校法人原田学園鹿児島キャリアデザイン専門学校	
九州日本語学校	
(株)南日本新聞社	NHK鹿児島放送局
(株)南日本放送	K T S鹿児島テレビ
(株)鹿児島放送	K Y T鹿児島読売テレビ

きょうさんかくしゃ かくだんたい
協賛各社・各団体



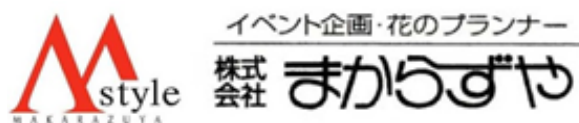
鹿児島トヨタ



特定非営利活動法人 くるす
NPO法人 KLS



NANOAY
南生建設株式会社



弓場貿易株式会社
YUMIBA TRADING CO.,LTD.

ワールドサンフーズ(株)

御協賛
ありがとうございました

(50音順)